

年度 2009 学期 後期	曜日・校時 木曜・3限	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	社会と歴史(社会学概説) Society and History (Introduction to Sociology)		
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等)	全学部	科目分類 人文・社会科学科目	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:保坂稔 /Eメールアドレス:hosaka@nagasaki-u.ac.jp /研究室:環境科学部2階255 /オフィスアワー:木曜10時~12時			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい:社会学の基礎知識を習得し、現代社会の様々な社会問題を分析できる思考力を養う。 授業方法:現代社会で生じる問題を社会的に分析するための方法について学ぶ。講義の中では、家族、政治参加、コミュニケーション、集団、非行といった具体的事例を取り上げる。 授業到達目標:社会学の基本概念を簡潔に説明できる。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 講義では、日常的な会話やしつけなどを取り上げつつ、社会学の基礎概念および社会学の分析方法を簡潔に説明する。  第1回 インTRODクシヨN 社会学とは何か 第2回 心理学との関係ー分析の視点 第3回 家族をめぐる社会問題:児童虐待 第4回 社会学の成立 第5回 合理化 第6回 宗教の理解 第7回 ナシヨナリズム 第8回 ポストモダン 第9回 コミュニケーション的合理性 第10回 機能主義社会学 第11回 さまざまなコミュニケーション論 第12回 ジェンダーの社会学 第13回 社会病理学1:犯罪とラベリング理論 第14回 社会病理学2:正常と異常 第15回 定期考査および評価			
キーワード	合理性、支配、コミュニケーション論的転回		
教科書・教材・参考書	教科書:『入門 グローバル化時代の新しい社会学』(西原和久他編・新泉社) 参考書:『現代社会と権威主義』(保坂稔・東信堂)		
成績評価の方法・基準等	試験(90%)、講義中の小レポート(10%)		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)			